

日本スポーツビジョン協会・医科学研究会

第1回研究会大会開く

「エビデンス積み上げよう」長田代表

多数の受講者が訪れた医科学研究会大会(山)と、講演する長田代表



一般社団法人日本スポーツビジョン協会(JSVA、長田夏哉代表)・日本スポーツビジョン医科学研究会(長田夏哉会長)は、第1回日本スポーツビジョン医科学研究会大会を8月31日、神奈川県横浜キャンパス(横浜市神奈川区)で開催した。テーマは「スポーツビジョンを字面にしよう」。当日は一般発表、教育講演、パネルディスカッションなどのほか、スポーツビジョン(SV)測定実技試験・資格認定筆記試験も実施された。

初開催の研究会大会では、6題の一般発表、アメリカのビジョントレーニングの紹介などをテーマにした教育講演、NSCAジャパン理事長の篠田邦彦氏による特別教育講演が行なわれ、終日多数の参加者が発表に耳を傾けた。また会場外では賛助会員企業などがハイカーブレンズ、スポーツ用アイウェアレンズやゴーグルなどを展示した。(公社)日本眼鏡技術者協会の認定眼鏡士・生涯教育講座に認定されており、教育講演1、2、3(総講3時間)の講演で1単位が認められた。

教育講演のうち、「U.S. Air Force Academy of Vision Training」アメリカに学ぶビジョントレーニングの最新エビデンスで講演した長田夏哉氏(日本スポーツビジョン協会代表、田園調布長田整形外科院長)は、米空軍アカデミーが実施しているビジョントレーニングの方法や機器を紹介しながら、ブラインドサッカーの選手がプロサッカーの一流選手と同じような動きをするなど、「見えない」ことがパフォーマンスを向上させる「脳の可能性」までも示唆。「全体と各所の調和が重要。SVにより人々の最高のパフォーマンスを導き出すため、エビデンスを積み上げていこう」とした。

眼鏡新聞

発行日/毎月 1日、11日、21日
発行所/眼鏡光学出版株式会社 編集発行人・美濃部隆
〒100-0006 東京都千代田区千代田1-7-7
TEL:03-5561-1177 FAX:03-5561-1170
E-MAIL:info@hokuryokusha.co.jp
HOKURYOKUSHA CO., LTD. 100-0006 TOKYO JAPAN

息づ(ヨーロッパ)の感性!
Chaconne
フレーム
株式会社タスクオプティカル
〒112-0018 東京都目黒区目黒4-25-9 TEL:03-6811-0414

同じく教育講演「スポーツと視機能+視覚の脳内処理」で講演した山ノ井高洋氏(日本スポーツビジョン医科学研究会委員、北海道大学教授)は、今年4月に新たに設定されたSVトレーニング項目(眼球運動、中心部/周辺部感知力、適応力、視覚化能力、視覚のフィードバック制御)とフィードフォワード制御、ヒトの視覚刺激に対する脳波計測とそのデータ解析などについて解説。中田義典氏(日本スポーツビジョン協会顧問、北野通り眼科院長)は「スポーツ眼外傷の症例と予防」学校における現状」で、学校現場でのスポーツ眼外傷について、スポーツ別に見た眼外傷(重度眼外傷の多くが球技で発生)、スポーツ用保護眼鏡の重要性に触れ、特に保護眼鏡について「日本では製品規格が無く、米」と比べて対策と普及が遅れている」として、独自に行なった市販品による自動車によるクラッシュテスト、鋼球落下テストの結果を発表、規格化の重要性を説いた。

特別教育講演は「ストレングストレーニングとコンディショニングの基礎知識」をテーマに篠田邦彦氏(NSCAジャパン理事長、新潟大学名誉教授)が話した。NSCAは米国のコラドスプリングスに本部がある、ストレングス&コンディショニングの権威で、一般の人々の健康維持増進や、アスリートの障害予防、パフォーマンス向上を目的に活動している。篠田氏は、ストレングスは単に筋力ではなく、「神経+筋系全体の能力」と定義、すべての体力要素に不可欠な能力であり、コンディショニングを通じて身体的な準備を整えることでパフォーマンスが最大限に高められるとして、筋肉は適度に使えば発達し、使わなければ萎縮する「ルールの法則」などを紹介しつつ、「トレーニングとは補強ではなくコンディショニング。高齢社会のいま健康度を高めることが求められている

その後、石井哲次氏(神奈川大学人間科学部人間科学科准教授)をコーディネーターに、長田氏、篠田氏、山ノ井氏、中田氏によるパネルディスカッションを開催。「SVに、医学」を付ける意義は」との問いに長田氏は「まずは身体の安全性を確保してスポーツを追求する。そのためSVだ。視覚は脳への影響も大きい。SVだけでなく、ヘルスケアにも関わるためには、医学知識は必要」、篠田氏は「正確な知識のある指導者が求められており、SVも医学科として正しい知識を伝えてほしい。エビデンスを蓄積することでよいサイクルをつくりあげていくことを期待する」、山ノ井氏は「データ解析をしっかりととり、科学のエビデンスを積み上げたい。SVを持続性ある社会に活かしたい」、中田氏は「眼科医の多くは動体視力を測っていない。過去の常識は今の非常識だ。SVの仲間を増やしたい」と話した。

また「スポーツ以外でSVを活かせる分野は」との質問では、直感力を鍛える、高齢者への身体機能向上やヘルスケアへの取り組み、高齢者の転倒予防、アンチエイジングへの応用、といった可能性にも触れた。

一般発表では、「スポーツビジョン測定の意義と責務」、「スポーツビジョントレーニングが視覚能力に及ぼす影響」など6題が発表された。

日本記念日協会認定 PEARL

9月7日は
クリーナーの日
メカネをきれいにしましょう!

美しい現生活を見つめる
株式会社パール
TEL:03-3642-9227 www.pearlret.co.jp/

ちょっと
「いいメガネレンズつくってます。」



伊藤光学工業株式会社
〒443-0041 愛知県豊田市宮成町3-19 TEL.0533-69-3311(代表) HP<http://www.itohopt.co.jp/